

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公衆浴場衛生確保事業			事業番号	011-245
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	環境業務
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 60 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律、堺市公衆浴場衛生確保事業補助金交付要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺浴場組合（組合に加入している14施設（令和5年度））	対象数	単位	
			14	施設	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	一般公衆浴場（物価統制令第4条の規定に基づき入浴料金が定められている公衆浴場）の衛生水準向上を図ることを目的とし、必要な措置を講ずることにより利用者の安全を確保する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	一般公衆浴場は物価統制令による入浴料金が統制されているため、自由に入浴料金を設定することができない。そのため、堺浴場組合が実施している公衆浴場の衛生確保事業に補助を行うことで、基幹設備の整備や改修を促すなど、衛生水準維持または向上を図る。 補助の対象は、基幹設備（ろ過器、集毛器、消毒装置）の整備や改善にかかる経費及び消毒剤等消耗品にかかる経費であり、それぞれ補助対象経費の半額の補助金を交付する。 令和5年度の補助対象施設は14施設である。			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	堺浴場組合			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
11	衛生確保施設	件	目標値	15	14	13	13
			実績値	14	13		
			達成率	93%	93%		
	当該指標を選定した理由	公衆浴場の水質が良好に保たれているかを確認する基準として、法令に細菌学的検査基準が定められているため。					
目標値の設定根拠・算出方法	目標値：対象施設数（施設の廃止に伴い減少している） 実績値：細菌学的検査基準内の施設数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	基幹設備改善施設	件		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	2	2	2	
			実績値	1	0		
			達成率	50%	0%		
	当該指標を選定した理由	公衆浴場の水質を良好な状態に保つためには、ろ過器等の基幹設備の安定稼働が重要な役割を果たすため					
目標値の設定根拠・算出方法	目標値：改善を予定している施設数 実績値：改善された施設数						

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	公衆浴場衛生確保事業	事業番号	011-245
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費内訳	項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
		決算		決算		当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,589		44		2,500	0	2,000
	国支出金					0	0	0
	府支出金					0	0	0
	市債					0	0	0
	その他（ ）					0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)					0	0	0
	一般財源	1,589		44		2,500	0	2,000
14	人件費（b）	2,050		2,050		2,592	2,592	2,592
15	年間経費（c）=（a）+（b）	3,639		2,094		5,092	2,592	4,592

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	決算				R5	決算		
16	公衆浴場衛生確保事業補助	R6	予算	2,000	2,000		R6	予算		
		R5	決算				R5	決算		
		R6	予算				R6	予算		
		R5	決算				R5	決算		
		R6	予算				R6	予算		
		R5	決算				R5	決算		
		R6	予算				R6	予算		
		R5	決算				R5	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

事業費内訳	区分	単位	令和4年度	令和5年度
			1	0
17	① 基幹設備改善施設	件	1	0
	② 上記①にかかる年間経費	千円	44	0
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	44,000	
備考（算出についての説明等）		事業費のうち基幹設備の改善や整備に係る経費		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	市民が利用する堺市内の一般公衆浴場 14施設に対し衛生状態を確保するため、一般細菌、大腸菌群、レジオネラ属菌の行政検査を行った結果、1施設においてレジオネラ属菌が基準値をわずかに超えていた。同施設に対し衛生状態を確保するよう指導をした。また、13施設の検査結果は基準値内で衛生状態が良好に保たれた。
	また令和5年度は基幹設備の修繕を必要とするような事由がなかったため、補助金の申請が0件であった。しかし、基幹設備の安定稼働は衛生を確保するうえで重要な役割を担うため、今後も継続して事業を行っていく必要がある。
	令和6年度予算は近年の施設の減少及び基幹設備の改修実績等を踏まえ、予算を減額し要求を行った。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和5年度は、基幹設備の修繕を必要とする事由がなく補助金額は0円であったが、当該補助事業は、基幹設備の適切な維持管理及び浴槽水の適切な消毒に寄与しており、その結果一般公衆浴場における衛生水準が保たれ利用者の安全を確保することができている。